NIE実践報告

1．タイトル：自分の意見を発表しよう

2．学校名

北海道札幌市立稲陵中学校

3．実践者名（代表者名）

佐賀　哲夫

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会･歴史　34人

6．単元（本時の学習課題）名

邪馬台国はどこにあったのか?

7．目標（狙い）

歴史資料の活用

8．評価の視点

たくさんの資料の中から必要な情報を見つけ、他人に伝わるよう発表できたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

特設のため、3時間で実施

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

1時間目:教科書にも紹介されているように、邪馬台国は九州説と畿内説に分かれていることを確認。自分はどちらの意見なのか考えさせた。
2時間目:コンピュータ室で、インターネットを活用し自分の意見を裏付ける資料を探す。使えそうな資料をプリントした。1時間目とは、自分の意見が変わった生徒もいた。
3時間目:自分の意見はどちらで、その根拠を示す発表を行う。最後に、最新の資料として纒向遺跡の新聞記事を見せた。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

自分の意見を裏付ける的確な資料を見つけるのは、大変だった。どちらかというと、思いつきで決めている生徒が多く、しっかりした根拠は持っていなかった。

12．成果と課題

新聞の資料が最新データという使い方になったせいか、九州説を支持した生徒は少なかったが、自分の意見が弱いことを知り落胆していた。せっかくの苦労が無駄になった印象を与えてしまったことは、失敗だった。普段、自分の意見をなかなか発表しない生徒たちにとっては、九州か畿内かという発表は、根拠が大切だと言いながらもやりやすかったことと思う。